

平成23年度一般・特別・企業会計予算のあらましを

お知らせします。

一般会計 116億8,788万

5千円

三芳町の平成23年度予算が、3月定例議会で可決されました。これは、今年度町で行う事業に要する経費と、そのために必要な収入の見通しをたてたものです。予算総額は、一般会計と特別会計をあわせて185億9,018万6千円となり、前年度に比べ3億5,275万8千円、1.9%増となっています。また、水道事業の今年度業務予定量は、給水戸数1万5,630戸、1日平均給水量1万5,500m³としました。

水道事業会計

国民健康保険特別会計

企業会計は「独立採算制」を原則としており、町では水道事業がこれにあたります。今年度の業務予定量は、給水戸数1万5,630戸、1日平均給水量1万5,500m³としました。

予算総額は、40億9,786万8千円で、前年度当初予算に比べて0.99%の減となっています。

収益的収支（給水事業予算）は、収益7億2,989万6千円に対し、費用7億5,496万8千円となっています。また、資本的収支（水道施設整備予算）は、収入1億6,891万5千円、支出5億5,714万4千円となっています。

歳入については、加入者が納付する国民健康保険税が9億7,708万7千円、国庫支出金が7億1,554万4千円、療養給付費等交付金が1億3,647万円、前期高齢者交付金が13億1,790万4千円、県支出金が1億3,903万2千円、共同事業交付金が3億5,092万7千円および一般会計繰入金金が3億6,000万円などです。

今後は、配水管布設替事業及び浄水場整備事業を強化するとともに、経費削減及び健全経営並びに安定給水に努力してまいります。

歳出については、医療費などの保険給付費が28億1,981万4千円、後期高齢者支援金等が5億4,182万9千円、介護納付金が2億1,274万7千円および共同事業拠出金が3億9,299万4千円などです。

問い合わせ 上下水道課（内線254）

なお、平成23年1月末現在の加入世帯数は、6,360世帯、被保険者数は11,927人で、総人口に対する割合は31.27%です。

問い合わせ 住民課（内線154）

下水道事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

予算総額は9億2,846万5千円で、前年度当初予算に比べて、13.50%の増となっています。

後期高齢者医療特別会計は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づいて、75歳以上の人（一定の障害がある人は65歳以上）に納めていただいた後期高齢者医療保険料を管理するための会計です。

歳入については、分担金及び負担金320万円、使用料及び手数料4億5,041万9千円、一般会計からの繰入金2億5,100万円、町債4,330万円などです。

予算総額は2億7,076万5千円で、前年度当初予算に比べて5.29%増となっています。

歳出については、総務費3億8,473万8千円、事業費6,076万円、公債費4億7,996万7千円などです。

本年度の主な事業は、北松原土地区画整理地内の整備です。

歳入については、後期高齢者医療保険料が2億3,192万5千円、一般会計繰入金金が3,846万5千円などです。

歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金の2億6,605万9千円が大部分を占めています。

なお、平成23年1月末現在の被保険者数は、2,720人です。

問い合わせ 住民課（内線154）

介護保険特別会計

予算総額は、16億5,207万3千円で、前年度当初予算に比べて10.10%の増となっています。

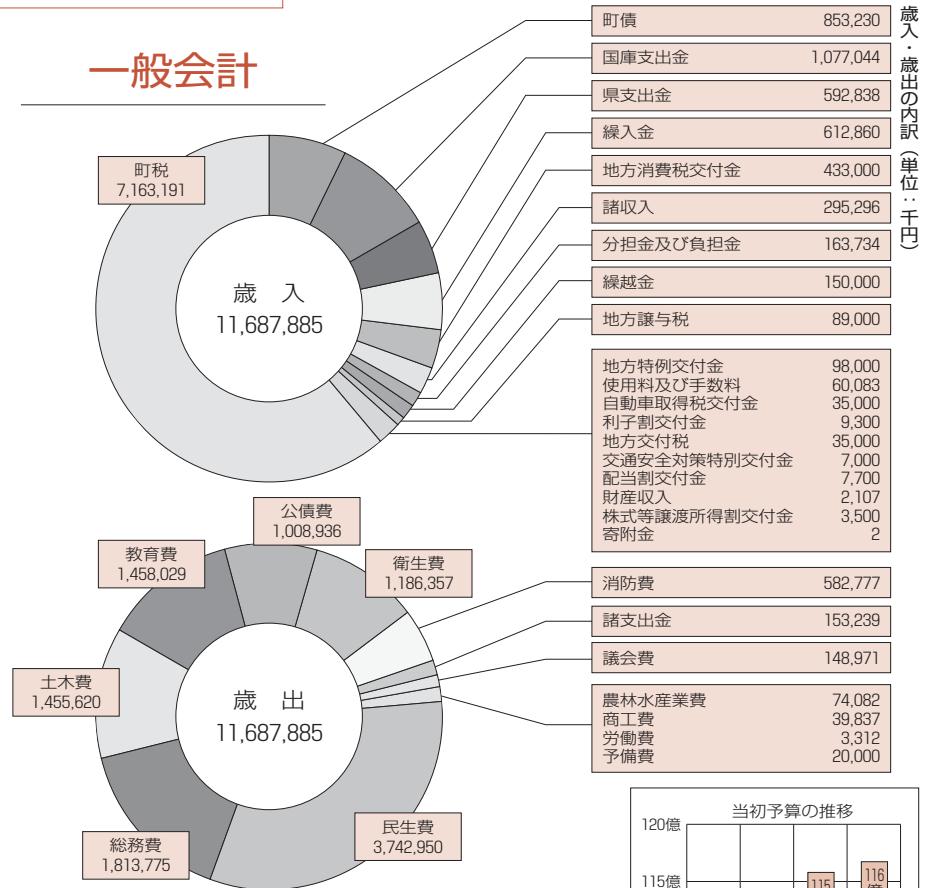
歳入については、65歳以上の第1号被保険者が納入する保険料が3億3,609万2千円、国庫支出金が2億8,750万1千円、支払基金交付金が4億6,821万4千円、県支出金が2億3,186万1千円、一般会計繰入金及び基金繰入金金が2億7,781万6千円などです。

歳出については、居宅介護サービス及び施設介護サービス等の保険給付費の15億5,221万1千円と地域支援事業の2,800万円などです。

なお、要介護認定者は平成23年1月末で877人です。

問い合わせ 健康増進課（内線184）

一般会計



平成23年度町の貯金（基金）の状況について

町では、多額のお金を必要とする事業の実施や災害などの緊急時のために貯金をしています。この貯金は基金といい、町の財政運営の安定化を図るため、特定の目的のために使うお金を積み立てているものです。財政調整基金は、予算の歳入不足などに使用することもできますが、その他の基金は、それぞれの目的のためでなければ使用することができないことになっています。

一般会計基金（平成23年度末見込）			
基金名	目的	積立残高	町民一人あたり積立残高
財政調整基金	災害などの緊急時や財政調整のため	230,935千円	6,051円
清掃施設建設基金	清掃施設建設のため	165,262千円	4,330円
生涯学習施設整備基金	生涯学習施設整備のため	101,870千円	2,669円
地域福祉基金	在宅福祉の推進等、地域保健福祉活動の振興のため	6,046千円	158円
緑ぬくもり基金	緑の保全及びぬくもりのあるまちづくり推進のため	36,340千円	952円
高齢者福祉基金	高齢者の福祉の充実に資するため	27,336千円	716円
合計		567,789千円	14,877円

*町民一人あたりの積立残高は、平成23年2月末の人口38,165人で計算しました。

平成23年度一般会計予算について、日本の経済情勢はいまだ景気が足踏み状態にあり、厳しい状況にあります。町の自主財源である町税等の収入もややも直す中、社会保障経費等の自然増が見込まれ、厳しい財政状況ではありますが、所要財源の確保に努め、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成等、新たな事業並びにマニフェストの実行に係る諸経費を計上し、総額116億8,788万5千円、対前年度比1.1%の増額となっています。

歳入の主な財源としては、町税が全体の61.3%を占め、国庫支出金9.2%、町債7.3%、繰入金5.2%、県支出金5.1%、61.3%を占め、つづいて総務費15.5%、教育費12.5%、土木費12.5%、衛生費10.2%となっています。

また、主な事業としては、竹間沢小学校校舎耐震補強事業、三芳中学校体育館（柔剣道場）耐震補強事業、（仮称）藤久保第一区第二集会所建設事業、緊急雇用創出対策事業として5事業などを予定しています。

問い合わせ 財務課（414）

